スポーツ庁
JAPAN SPORTS AGENCY

令和6年度

地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

長野県　諏訪市

自 治 体 名 ： 長野県　諏訪市
担 当 課 名 ： 教育委員会　教育総務課
電 話 番 号 ： 0266-52-4141

1.自治体の基本情報

スポーツ庁

基本情報

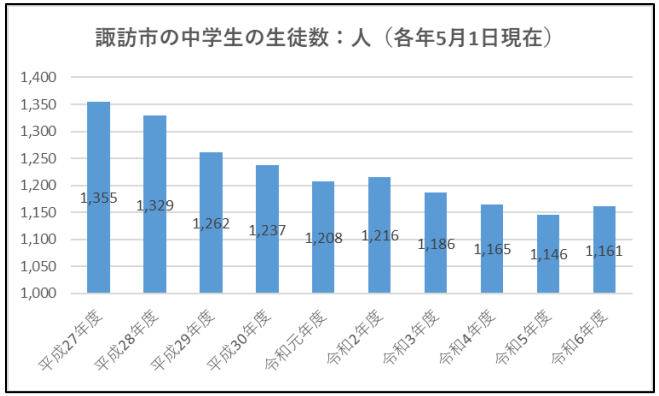
面積	109.91 ㎢
人口	47,130 人
公立中学校数	4 校
公立中学校生徒数	1,161 人
部活動数	38 部活
市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	設置済
市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	策定に向け準備中

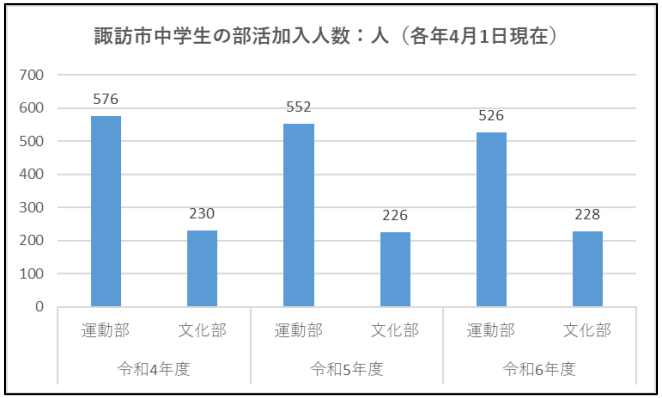
地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

・少子化等による生徒数の減少や、加入率の低下などにより、これまでと同様の部活動体制を維持することが困難になっている。また、部活動は教員の勤務時間外の活動が主となることから、学校における働き方改革を求められる中で、指導体制を維持することも難しくなっている。

・令和5年度に児童生徒に実施した「市内小中学校における部活動や地域等で行われているクラブ活動等に関するアンケート」において、部活動やクラブ等に入っている目的は「興味がある活動のため」や「体力や技術を向上させたいため」、「大会等で良い成績を収めたいため」、「チームワークや協調性、共感を味わいたい」など、生徒が心身ともに健やかにまた、豊かな心に成長していくうえで部活動は重要な活動であり、この活動は生徒のためにも保証していかなければならない。

・中学生の生徒が地域でスポーツに親しめる環境構築を進める際の様々な課題に取り組むため、受け入れ態勢の整った「卓球」種目について運営する団体の体制整備、指導者の確保、費用負担など休日の部活動地域移行に向けた実証事業に取り組み、令和8年度末を目途に、休日の学校部活動の地域クラブ活動への移行完了を目指している。



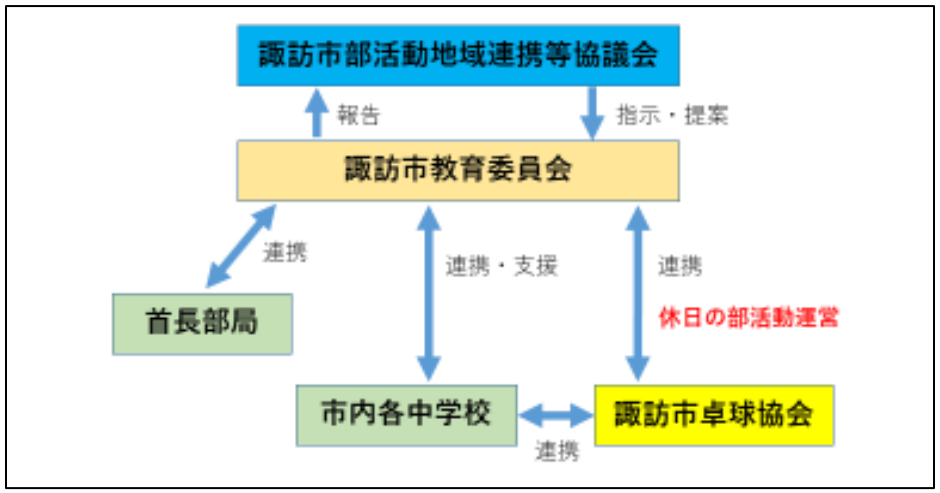


2.実証内容と成果

スポーツ庁

運営体制・役割

●運営体制図（市区町村における推進体制図）



●行政組織内での役割分担

◉教育委員会

・諏訪市部活動地域連携等協議会の事務局の運営等。

・諏訪市卓球協会と連携し、休日の部活動の受け皿となる地域クラブ活動の運営体制を構築する。

・生涯学習課及びスポーツ課は部活動地域移行の主管課である教育総務課と連携し、各種団体との連携調整を行う。

◉首長部局

・地域移行に向けた財政支援。

・教育委員会と連携し、休日の部活動の受け皿となる地域クラブ活動の運営体制構築を目指す。

年間の事業スケジュール

令和６年　５月　卓球協会と実証事業に向けた協議

令和６年　７月　卓球協会と実証事業に向けた協議

令和６年　９月　実証事業開始に向けた保護者への周知

参加生徒の募集

令和６年１０月　卓球協会と実証事業に向けた協議

各中学校と実証事業に向けた調整

令和６年１１月　休日の部活動（卓球）実証事業スタート

↓

令和７年　３月　部活動地域連携等協議会

2.実証内容と成果

スポーツ庁

地域スポーツクラブ活動の運営実績

①全体に関すること

中学校数	5 校（県立中学校1校含む）	実施した地域クラブ総数	1クラブ
ケース別クラブ数	A：部活動を地域移行した形のクラブ数（及び移行された部活動数）		1クラブ（2部活）
	B：部活動を移行する形態ではない地域クラブ（新たな種目のクラブを新規に創設するケース等）		なし
全体の指導者数	25人	全体の運営スタッフ数	3人

②各クラブに関すること

クラブ名	運営団体種別	種目 ※新規のものは末尾に（新）を付ける	実施回数	実施時間帯	参加者（学年別）	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数（他クラブと兼務）	会費	大会参加方法
諏訪市卓球協会	諏訪市スポーツ協会加盟	卓球	週 1 回	原則 9：00～ 11：00	1年生　22名 2年生　30名	11月9日～3月31日予定	・上諏訪中学校 ・諏訪中学校 ・諏訪西中学校	25人	3 人	現在検討中	中体連：各学校部活動、 その他：地域クラブ

③その他、体験会やイベント等の開催実績

- 市内にある県立中学校生徒への参加機会の提供
- 卓球部に加入していない生徒への参加機会の提供

2.実証内容と成果

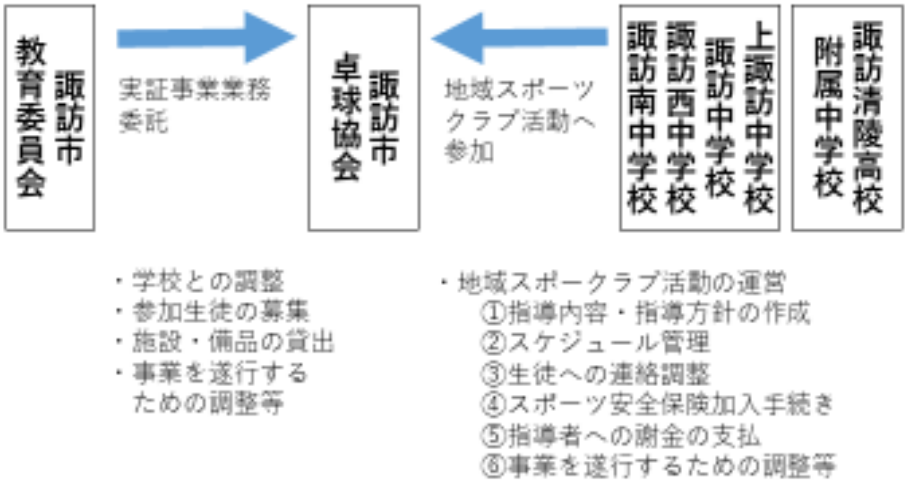
スポーツ庁

主な取組例

●部活動地域移行（卓球）　活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	卓球
運営団体名	諏訪市卓球協会
期間	11月9日（土）　～　年度末まで 毎週土曜日午前中に活動
指導者の主な属性	諏訪市卓球協会会員
活動場所	上諏訪中学校、諏訪中学校、 諏訪西中学校
主な移動手段	徒歩及び保護者による送迎
１人あたりの参加会費等（年額）	保護者負担については検討中 大会等はその都度徴収
１人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒１人あたり：800円/年

●運営体制図（地域クラブ活動を実施する際の運営体制図）



●指導者や運営スタッフなどの役割分担等

●統括責任者　1名

役割：活動における管理者として、学校、保護者との連携を行う

●統括副責任者　1 名

役割：活動における副管理者として、統括責任者を補佐する

●運営補助者（事務）　1名

役割：活動において、運営補助者として主に事務を担う

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

取組事項

・諏訪市スポーツ協会の加盟団体である諏訪市卓球協会と実証事業業務委託契約を締結して事業を実施した。
・教育委員会において、諏訪市部活動地域連携等協議会を設置した。

取組の成果

・中学生の生徒が地域でスポーツに親しめる環境の構築を進める際の様々な課題に取り組んだ。
・卓球部顧問の時間外勤務や働き方改革への推進に繋げることができた。
・教育総務課と生涯学習課及びスポーツ課が連携し、地域移行が推進できる体制への方策について検討を進めた。

今後の課題と対応方針

・実証事業の進捗状況や課題を検証しつつ、卓球に続く次の種目の展開を模索していく。

●取組項目名　イ：指導者の質の保障・量の確保

取組事項

・諏訪市卓球協会員による指導者の確保、部活動指導員を地域クラブ指導者として休日も指導に従事していただいた。

取組の成果

・スポーツ団体ガバナンスコード、長野県中学生期のスポーツ・文化芸術活動指針、長野県地域クラブ活動推進ガイドライン、諏訪市部活動地域移行推進計画を遵守して指導員の質の向上が図られた。

今後の課題と対応方針

・諏訪市が締結している学校法人日本体育大学との連携協定による指導員の相互協力活用し、連携強化を図る。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　エ：面的・広域的な取組
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等

取組事項

・参加生徒を市立中学校の卓球部員に限定することなく、希望する生徒が参加できる仕組みを構築するとともに、市内県立中学校の生徒の参加も募った。
・実証事業初年度については受益者負担なしで実施を開始した。
・市内中学校の施設を活用し、実証事業をスタートした。

取組の成果

・部活動がない学校の生徒に卓球に親しむ機会を提供することができた。
・他校の生徒との交流が図られた。
・市内3中学校（上諏訪中学校、諏訪中学校、諏訪西中学校）を活動拠点とし、地域スポーツクラブ活動として実施。
・実証事業スタートに際し、環境整備を整えるため、卓球台の整備を行った。
・学校施設の貸出等については制限があるが、地域スポーツ活動については部活動に準ずる扱いとし、優先利用、使用料減免の支援を行った。



【上諏訪中学校での活動の様子】

今後の課題と対応方針

・活動拠点が3校（上諏訪中学校、諏訪中学校、諏訪西中学校）になるので移動が困難な生徒の移動手段については検討が必要になる。（地域の公共交通サービスやスクールバスの活用なども検討）
・コストの検証により、次年度以降持続的に活動することを前提とした仕組みの構築を目指す。
・経済困窮世帯ついては援助制度等について検討。

2.実証内容と成果①

スポーツ庁

総括・成果の評価・今後に向けて

●総括

受け入れ態勢の整った卓球種目について、諏訪市最初の地域移行として11月より地域スポーツクラブ活動体制整備事業（実証事業）の取組をスタートさせた。

●成果の評価及び今後の課題

今後持続して活動していく仕組みや他の競技や種目への展開を図っていくための課題を把握することができた。

引き続き、実証事業に取り組みながら課題解決に向けた取組を進めていく。

運営団体の体制整備

・運営団体の組織体制の構築　・コーディネーターの配置

財源の確保

・運営費用の確保が必要なため、受益者負担の検討、企業協賛等の活用

指導者の確保、質の向上

・信州地域クラブ活動指導者リストの活用、研修の実施

移動手段

・保護者送迎、公共交通サービスの活用等

活動場所の確保

・施設の確保、セキュリティ・管理

●今後に向けて

・部活動の地域との連携及び地域への移行に向けた方向性の検討（部活動地域連携等協議会における検討）

・競技団体等との協力・支援の要請（実施可能な競技や種目による実証事業の実施）

2.実証内容と成果②

スポーツ庁

部活動や地域等で行われているクラブ活動等に関するアンケート結果　（抜粋）

部活動や地域等で行われているクラブ活動等に関するアンケート結果

趣　　旨

部活動の地域移行を進めるにあたり、部活動や地域等で行われているクラブ活動等の加入実態及び児童生徒自身がどのように考えているかを把握するため。

対　　象

市立小学校6年生　　市立中学校1、2中学生

実施時期

令和5年12月～令和6年1月

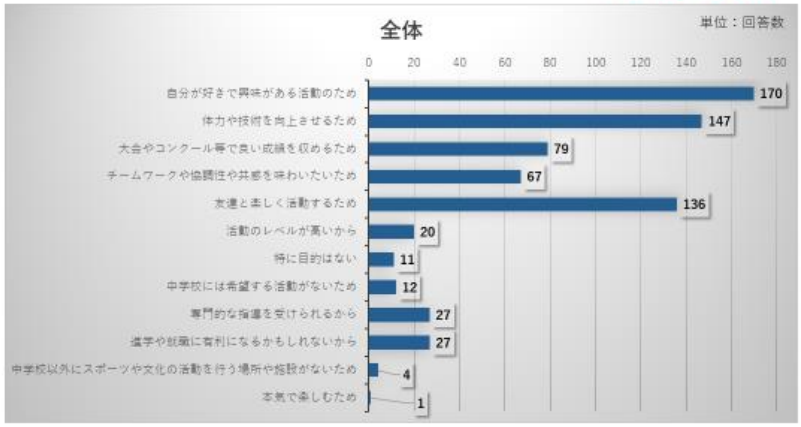
実施方法

Webアンケートフォームにより児童生徒は一人一台端末を用いて回答

回答者数

小学校：３４４名　中学校：４９５名

（問）部活動やクラブ等に入る目的について、次からあてはまるものすべてを選んでください。（複数回答）　小学6年生対象



（問）あなたは、中学生のときに、スポーツや文化芸術活動にどのように取り組みたいと思いますか。（自由記述）　小学6年生対象

楽しさと協力:
・仲間と一緒に協力して楽しくできればいいなと思っています。
・みんなで協力したり、楽しく活動に取り組みたいと考えています。

成績への焦点:
・クラブだけどいい成績を、出せるように頑張りたい。
・大会などで優勝できるように練習に取り組みたいです。少しでもチームに貢献したり、
いい成績をのこせるように真剣に取り組みたいです。

真剣さと向上意欲:
・真剣に取り組みたい。
・技術を向上させたい。
・頑張って取り組みたい。
・将来の為に、中学で、高校の強豪校に目をつけてもらえる選手になるように取り組みたい。

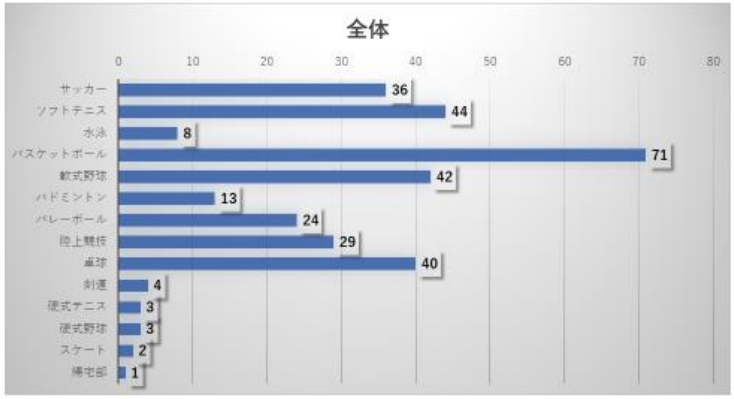
チームワークと共感:
・友達と協力して楽しく活動する大切さを考えることができるように取り組みたい。
・チームワークを大切にして仲間、友達と楽しくバレーボールをやりたい。
・チームのみんなと協力して日本１を目指す。

将来志向と目標設定:
・自分の目標とする大会で、良い結果が残せるように頑張りたい。
・スケートの大会で常に上位にいる選手になりたい。
・将来の為に、中学で、高校の強豪校に目をつけてもらえる選手になるように取り組みたい。

271名の児童の回答を傾向によってグルーピングし、
その中のいくつかをピックアップした。

（問）「運動部に所属している」を選んだ人は、種目等を選択してください。（複数回答）　中学1.2年生対象

単位：回答数

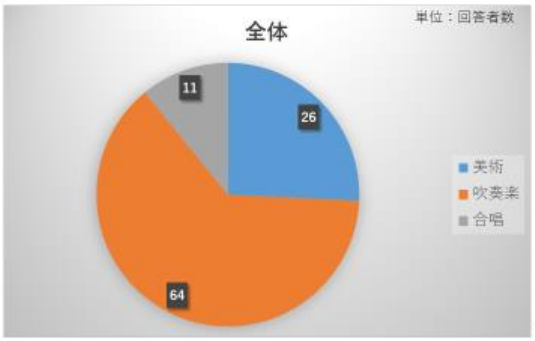


2.実証内容と成果③

スポーツ庁

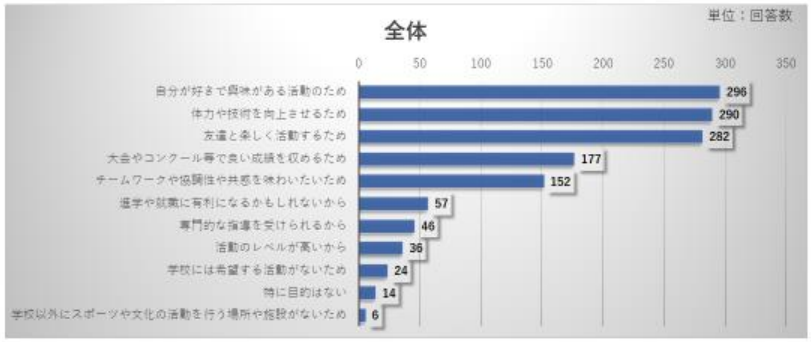
部活動や地域等で行われているクラブ活動等に関するアンケート結果　（抜粋）

（問）「文化部に所属している」を選んだ人は、種目等を選択してください。　中学1.2年生対象



全ての回答者が単一回答であった。

（問）その部活動やクラブ等に入っている目的について、次からあてはまるものすべてを選んでください。　中学1.2年生対象



（その他の意見）

- 兄弟がみんなやっているから。
- バスケが好きだから
- 親に言われたから
- プロになりたいから
- 自分の好きなことの向上に繋げられるから
- 小学生の時からやっていたかったから続けたかった
- 家族関係
- 自分がうまくなるため

（問）現在の活動が「このようになればよい」ということがあれば入力してください。（自由記述）　中学1.2年生対象

指導とテニスコート整備に関する意見

・顧問の先生がいないことが多く、指導が足りないため技術が上がらない。
・部活のテニスコートをもうちょっと整備してほしい。
・外部コーチと顧問の意見が統一されていないと感じる。

活動時間と休日練習に関する意見

・土日の部活動練習が強制的な雰囲気であり、強制感をなくしてほしい。
・休日の練習を減らしてほしい。
・休日の部活動開始時間を遅くしてほしい。

部活動への集中度や個々の取り組みに関する意見

・話をしている人がおり、コンクールに向けた意欲がバラバラで音にまとまりがない。
・部員の中には真剣に活動していない人がいて、それが部活動に悪影響を与えている。
・部活の時間や回数を延ばして、より集中的な練習を行いたい。

126名の生徒の回答を傾向によってグルーピングし、その中のいくつかをピックアップした。

（問）あなたは、中学生のときに、スポーツや文化芸術活動にどのように取り組みたいと思いますか。（自由記述）　中学1.2年生対象

活動への姿勢と目標設定:

・自分なりに考えて活動して、楽しみたい。協力したい。
・全力で取り組む。仲間を大切にする。楽しく取り組みたい。
・技術も上げたいけど、人間面も成長させたい。楽しく協力して強くなりたい。

チームワークと協力:

・仲間と協力して取り組みたい。みんなで楽しく安全に自由にできるものにしたい。
・みんなで活動をして楽しい時もつらいときも仲間と一緒に頑張って助け合いをつけていきたい。
・チームの人協力し目標に向かって一生懸命に練習したい。

目標達成と努力:

・自分で目標を持って、それに向かって部活動に取り組んでいきたい。
・楽しく、でもしっかりと取り組みたい。みんなと仲良くしながら取り組みたい。
・県でトップ５に入るために日々の練習から真剣に取り組む。

315名の生徒の回答を傾向によってグルーピングし、その中のいくつかをピックアップした。

2.実証内容と成果④

スポーツ庁

参考資料（令和6年5月1日現在　諏訪市立中学校部活動の部員数）

令和6年5月1日現在　諏訪市立中学校部活動の部員数

	運動部名		上諏訪中学校 部員数 1年	2年	3年	計	諏訪中学校 部員数 1年	2年	3年	計	諏訪西中学校 部員数 1年	2年	3年	計	諏訪南中学校 部員数 1年	2年	3年	計
			人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人
1	陸上競技	男	1	3	9	13					1	2	3	6	1	1	7	9
		女	3		1	4					2		5	7	3	2	3	8
2	水泳	男													2	5		7
		女														7		7
3	男子バレーボール										3	3	3	9				
4	女子バレーボール							4	4	8	5		1	6	9	3	9	21
5	男子バスケットボール		6	8	3	17	8	13	5	26	7	7	1	15	6	6	7	19
6	女子バスケットボール		4	5	5	14	5	7	3	15	4	2	1	7	15	6	5	26
7	サッカー	男									7	3	9	19	16	21	10	47
		女									1		1	2			3	3
8	軟式野球	男	3	9	4	16	4	7	4	15	3	5	2	10	5	6	12	23
		女		4		4												
9	ソフトテニス	男													11	10	9	30
		女		4	5	9									12	16	13	41
10	卓球	男	5	4	9	18					1	13	6	20				
		女									2	6	7	15				
11	柔道	男																
		女																
12	剣道	男										2		2				
		女									1	2	4	7				
13	相撲	男																
14	ソフトボール	女																
15	体操	男																
		女																
16	新体操	男																
		女																
17	ハンドボール	男																
		女																
18	バドミントン	男																
		女																
19	スケート	男		1		1												
		女																
20	スキー	男																
		女																
21	アイスホッケー	男																
		女																
22	ボート	男																
		女																
23	ホッケー	男																
		女																
24	フェンシング	男																
		女																
25	カーリング	男																
		女																
26	レスリング	男																
		女																
27	その他	男																
		女																
28	その他	男																
		女																
運動系部員数		男	15	25	25	65	12	20	9	41	22	35	24	81	41	49	45	135
		女	7	13	11	31	5	11	7	23	15	10	19	44	39	34	33	106
		計	22	38	36	96	17	31	16	64	37	45	43	125	80	83	78	241

	文化部等		上諏訪中学校 部員数 1年	2年	3年	計	諏訪中学校 部員数 1年	2年	3年	計	諏訪西中学校 部員数 1年	2年	3年	計	諏訪南中学校 部員数 1年	2年	3年	計
			人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人	人
29	合唱	男					1		2	3								
		女	2		1	3			3	3					3	1	4	8
30	吹奏楽	男	4	1	1	6	2	2	4	8	2	1	1	4	5	1	5	11
		女	5	3	5	13	7	8	10	25	14	12	8	34	12	8	6	26
31	その他音楽	男																
		女																
32	美術・工芸・陶芸	男													11	11	2	24
		女	5	2	2	9					11	7	12	30	3	11	7	21
33	考案作製・技術・園芸	男																
		女																
34	文芸・読書	男																
		女																
35	理科・科学・環境	男																
		女																
36	コンピュータ・情報	男																
		女																
37	演劇	男																
		女																
38	ボランティア	男																
		女																
39	書写・書道	男																
		女																
40	家庭科（調理・手芸）	男																
		女																
41	囲碁・将棋	男																
		女																
42	茶道	男																
		女																
43	英語・国際	男																
		女																
44	人形劇	男																
		女																
45	その他	男																
		女																
46	その他	男																
		女																
47	その他	男																
		女																
文化部等部員数		男	4	1	1	6	3	2	6	11	2	1	1	4	16	12	7	35
		女	12	5	8	25	7	8	13	28	25	19	20	64	18	20	17	55
		計	16	6	9	31	10	10	19	39	27	20	21	68	34	32	24	90

2.実証内容と成果⑤

スポーツ庁

参考資料



【諏訪西中学校での活動の様子】



休日の部活地域移行 体制づくりへ足掛かり

卓球部で試行開始

諏訪市教委 5カ月活動し課題洗い出し

諏訪市教育委員会は、市内中学校が休日に行う部活動の受け皿を地域に移す試行を9日から卓球部で始めた。市卓球協会のメンバーらが指導に当たり、市内2校を会場に4校の卓球部員、体験したい生徒計44人が参加した。来年3月まで5カ月間活動して課題を洗い出し、体制づくりの足掛かりにする。（日比野真由美）

4中学から44人参加

卓球協会メンバーの指導で2校の生徒が混じって練習した＝諏訪西中学校

部に所属しなくても体験の門戸

【実証事業スタート時の新聞記事】

2.実証内容と成果⑥

スポーツ庁

地域スポーツクラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス

令和5年	令和6年		令和7年	令和８年度以降
部活動地域連携懇談会による検討開始	実証事業（卓球）開始	部活動地域連携等協議会の設置	実証事業（卓球）の検証	地域クラブ活動への移行に向けた調整	他競技や他種目への地域クラブ活動の拡大

●実証事業（卓球）の検証

・実証事業における課題を検証し、持続可能な運営の構築を目指す。

●部活動地域連携懇談会における検討

部活動の地域との連携及び地域への移行に向けた方向性を総合的に検討し、実現に向けた協議を行う。

・

●地域クラブ活動への移行に向けた調整

・競技団体等との懇談や調整を踏まえ、協力・や援の要請を行い、実施可能な他競技や他種目による実証事業を実施していく。

・実施が見通せた協議や種目ができた段階で、学校や顧問と調整する。

・保護者や生徒への十分な説明を踏まえ、地域移行を開始していく。

3.今後の方向性

スポーツ庁

地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ

令和7年度	令和8年度	令和9年度
・『卓球競技』による実証事業の継続実施 ・地域クラブ活動移行に向けた検討・準備 ・各競技団体へアプローチして、課題・支援策の検討（可能な競技から順次、地域移行を進める）	・長野県の指針改定、平日の移行方針を参考に当市の平日移行を検討 ・地域クラブ移行に向けた進捗状況を市民等へ情報発信 ・年度末までにすべての休日部活動を地域クラブ活動に移行を目指す	・段階的に平日部活動の地域クラブ活動への移行を目指す